

# かがやく

## ハーモニーひたちなか

第16号  
2014.3発行  
編集/発行  
ハーモニーひたちなか  
ひたちなか市女性生活課

### 男女共同参画強調月間事業

## テーマ「認め合う 最初の一歩は 理解から」

市では、男女共同参画の実現に向けて、市民及び事業者の関心と理解を深めるとともに、男女共同参画の推進に関する活動が積極的に実施されるよう、毎年11月を「男女共同参画強調月間」と定め、啓発事業を実施しています。

平成25年度は月間テーマを「認め合う 最初の一歩は 理解から」とし、男女共同参画を推進する団体のネットワークである「ハーモニーひたちなか」と協働で啓発事業を行いました。



▲ハーモニーフェスタ 2013 会場の様子



楽しみながら男女共同参画を知っていただきたいとハーモニーフェスタが開催されました。

当日は男女共同参画に関するアンケートや工作コーナーなどがあり、幅広い年齢層の方に参加いただきました。さらに会場に設けられたミニステージでは、思い出の歌コンサートや朗読劇、パネルシアター、よさこい鳴子踊りなどが行われ、賑わいを見せていました。

また、会場にはハーモニーひたちなか所属団体の活動紹介や女性の人権に関するパネルが展示され、足を止めて熱心に見ている来場者の姿も多くみられました。

ハーモニーフェスタ2013  
日にち 平成25年11月2日(土)  
ところ 市総合体育館メインアリーナ

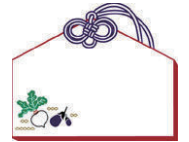
# ハーモニーフェスタ 2013 について報告します！

昨年に引き続き、男女共同参画についてシールアンケートを行い、男女間の意識の違いを知るとともに、来場者の方と身近な生活の中から男女共同参画を進める事の大切さについて話し合う事ができました。また、絵馬の形をした紙に日頃言えないパートナーへのメッセージを書いてもらいました。

**WING、新日本婦人の会ひたちなか支部**



みんなで絵馬に書いたよ！



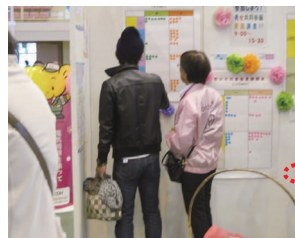
## 寄せられた絵馬のメッセージ

### 男性から女性へ

- ・心配りができるところがすごい。
- ・かあちゃん、いつもありがとう。

### 女性から男性へ

- ・仕事を頑張りすぎないでください。
- ・優しく見守ってください。



## シールアンケートの結果

### 大人への設問

#### Q 老後は誰に面倒を見てもらいたいか

男性の約5割の方が配偶者、女性の約5割の方が施設や介護職員等に老後のケアをお願いしたいと考えています。

### 子どもへの設問

#### Q 家の手伝いはしていますか

男子も女子も掃除や食事の準備など約8割の方がしていると答えました。



私達のブースでは、共同で仕事を起こす新しい働き方「ワーカーズ」の紹介をしました。来場した多くの方に興味をもって頂きました。  
**生活クラブ生協ひたちなか**



今年は子どもたちに助け合う心、やさしい心、楽しい夢を持つことを伝えたいと思い紙芝居を行いました。たくさんの親子連れに楽しんでいただきました。

## ひたちなか市更生保護女性の会



私達は、卵パックや、牛乳パック、チラシ等を再利用した造花や、肩たたき棒を来場者と一緒に作りました。

## 火曜会



“皆で歌おう”のテーマで来場者の皆様と一緒に「ふるさと」「花は咲く」等楽しく合唱する事ができました。

## 青春会



# ハーモニーひたちなかフォーラム

日にち 平成25年11月16日(土) ところ ワークプラザ勝田多目的ホール



## トーク&ライブ「夢をつかむ法則」 講師 アニャンゴ(ニャティティ奏者)



弟子入りを断られた後も村で生活を続け、独自に練習を続けた熱意が通じ、やっと修業することを認められました。しかしその後もマラリアに罹ったり言葉の壁や独特な指導法に苦労したりしましたが、必死に師の指導についていき、修業の末にニャティティ奏者としての免許を授かることができました。その時師から「君は私の行けない所まで行って、この楽器を弾いてきなさい。ニャティティの音色を世界に広めなさい」と伝えられました。昨年、師は他界し

アニャンゴさんはニャティティの音色に魅せられ、演奏方法を習得したいと思いましたが、女性であること、外国人であることを理由に師からニャティティを教えることを断られました。しかし、彼女は

ましたが、彼女は師の遺志を継いで世界各地で演奏を行っています。

ライブでは、初めて聞く異国の言葉で「私たちに誰にも違いはない、みんな平等、すべての命の誕生を祝おう」と歌い、ニャティティの素敵な音色、打ち鳴らす足拍子、軽やかに空を目指す澄んだ声が会場を包み込みました。何かをほんとうに成し遂げたい、夢を実現したいと思った時、必要なのはただ情熱。人種や言葉、年齢、性別など関係ないと彼女の歌声は私たちに伝えてくれました。

※ハーブの原型ともいわれる8弦のアフリカの民族楽器

### アニャンゴさんプロフィール

本名 向山恵理子。東京生まれ。  
現地でも限られた男性だけに演奏が許されているニャティティの世界初の女性奏者となる。  
日本だけでなく、海外で広く演奏活動を行っている。

## 男女共同参画推進事業所表彰

男女が共に働きやすい職場環境づくりに取り組んでいる次の2事業所が表彰されました。

### <株式会社 小野写真館> (東大島2丁目)

企画会議に女性が参加し意見が言える環境づくりや女性の管理職登用など、女性の能力発揮に積極的に取り組んでいます。

### <水戸精工 株式会社 > (山崎)

女性従業員にも国家資格取得研修を受講させるなど、女性技術者の育成に積極的に取り組んでいます。



## 男女共同参画に関する作品表彰

誰もが自分らしく生活できるような男女共同参画社会の実現に向けて、取り組むことをイメージする380作品の応募があり、男女共同参画審議委員と市が選定した結果、次の6名が表彰されました。最優秀作品は次年度の男女共同参画強調月間のテーマとして啓発に活用します。

### <最優秀作>

「未来へと 男女でつなぐ 道しるべ」 梶山 華奈さん

### <優秀作>

「チャレンジに 男女の隔ての無い社会」 加藤 陸さん  
「みんなが主役 すてきな未来の第一歩」 鈴木 絵彩さん

### <佳作>

「みんなでね きょうりよくしあう たいせつさ」 川崎菜々子さん  
「変えようよ 決めつけてしまう 心から」 黒澤 彩音さん  
「認めあい 分かちあい 違いを力に変えていこう」 西原 鈴子さん



# 素敵な老後の暮らし方 ～シリーズ高齢期の過ごし方⑥～

今回は、墨絵を通して仲間と充実した生活を送る、ハーモニーひたちなか会員の角田綾子さんから寄稿いただきました。

戦前の日本は「女性は男性に従うもの」という考え方が強い社会でした。15歳の時、戦争が終わって、新しい憲法が出来ました。「主権在民」「男女同権」「自由民主」と私には初めて知る言葉ばかりでした。そして先生は「これからはいろいろな意味で自由な時代が来ます。でも自由には責任が伴います。その責任を忘れない様に」と強調されました。私は“よし、自由に生きるぞ”と決意しました。それから自由に生きる

という事は決して楽な道ではなかったけれど、いろいろな事に挑戦できるようになりました。そして私は墨絵に出会い、現在も続けています。

私は今82歳です。自宅の庭に草花を育て、四季折々に咲く花を描き、楽しんでます。更に、この墨絵が縁でいろいろな仲間が増え、みんなと一緒に楽しいひとときをつくっています。常に生活の中での健康づくりを心がけ、これからも楽しく日々を過ごせたらいいなと思っています。

## 男女共同参画講座

### 「高齢期の住まいを考える ～誰とどこで暮らすのか～」

これから高齢期を迎える方のライフスタイルに合わせた施設の紹介や費用、介護保険制度、高齢者をとりまく環境についてわかりやすく学ぶ講座が開催されました。

わが国の総人口が減少する中で、高齢者が増加することにより高齢化率は上昇を続け、2013年には4人に1人、2035年には3人に1人が65歳以上の社会になると試算されています。その時、私たちの住む社会は医療費や介護など今まで以上に様々な課題が出てくると言われています。

高齢期の住まいを考えるにあたり、介護施設と

日にち 平成25年10月17日(木)  
ところ 中央公民館  
講師 川又久美子さん(社会福祉士・介護支援専門員)

いうと費用がかかるというイメージがありましたが、講師のお話では公的な軽費老人ホームの「ケアハウス」、生活援助員が派遣される「シルバーハウジング」、「サービス付き高齢者住宅」など介護施設の形態やサービスも様々で、以前に比べ選択肢が広がっているとのことでした。

これからは、「自分が誰とどこでどの様に暮らしたいかを意識して考え、固定観念を捨て高齢期の住まい方について勉強しなければ」と一人ひとりが考えさせられた時間となりました。



### 「世界をつなぐフェアトレード ～私にもできる国際貢献～」

今回の講座で取り上げたフェアトレードとは適正な価格での継続的な購入を通じて、立場の弱い人たちの自立と生活を改善することを言います。参加者全員がフェアトレードで仕入れたコーヒーと紅茶をいただくことから始まりましたが、その紅茶のパッケージとなっているバスケットはスリランカの女性が作っていて、2,500人の雇用があるそうです。講師は、現地にある産業を支援することこそが、その国の人々の自立に繋がっていくと話されました。

講師がフェアトレードに興味を持つようになったきっかけは、夫であるガーナ人と出会ったこと

日にち 平成25年11月12日(火)  
ところ 男女共同参画センター  
講師 エイクンスめぐみさん

です。そして、アフリカにも先進国とは異なる豊かさがあることを知り、その国の人々が経済的にも自立できるように協力できないかと考えたそうです。

フェアトレードのキーワードは①適正価格での買い付け②生産者の持続的な生活向上③資金援助ではない国際協力です。現在講師は薬局を経営する傍ら、チョコレートやコーヒー、紅茶、アクセサリーなどを販売しています。フェアトレード商品を買う事も私たちにできる身近な国際貢献の一つであることに気づいた講座でした。



今年のハーモニーひたちなかフォーラムではアニヤンゴさんの歌声とニヤンゴさんの素敵な音色に触れることができました。そして、彼女の前向きな生き方に勇気をもらったような気がします。毎年フォーラムでは、様々な講師が登場し新しい視点を開いてくれるので、男女共同参画センターの講座ともどもいつも楽しみます。友だちを誘ってまた参加します。

(M・K)

編集後記